

<高圧ケーブルの保守・点検用> 各種試験・測定装置

Fujikura、**三菱電線工業株式会社** および **FDC** は、

豊富なラインナップで、お客様の保守・点検活動を支えます。

<活線診断装置は、お客様の保守・点検の強い力になります>



保安規定(法規)に沿った点検なのに、**関係者との調整が大変。**



活線診断は、いつでも診断可能です。



停電**時間の確保**が難しく、**劣化の懸念**があるのに**十分な診断**ができていない。



活線診断は、自由なインターバルで、傾向監視ができます。



劣化したケーブルは、**高電圧印加**で**ダメージ**を受けない？



活線診断は、高電圧を印加しません。

<適用シーン別 製品ラインナップ>

実施種別	実施インターバル	停電	保守・点検項目と使用機器				
			耐電圧	絶縁体絶縁抵抗	シース絶縁抵抗	遮へい銅テープ抵抗	直流高圧漏れ電流
竣工試験 初期点検	布設 完成後	停電	E030 E008,E009	一般メガー	一般メガー	一般テスター	—
日常点検/目視	1~3ヶ月	—	—	—	—	—	—
定期点検 (停電診断)	1~2年 1年(使用10年以上)	停電	—	一般メガー	一般メガー	一般テスター	—
(活線診断)	任意に設定 1年~3ヶ月 活線診断(停電不要)	—	—	LINDA 1000(可搬型)・LINDA 1500(自動・据置型)		—	—
				E131(可搬型) E135(自動・常置型)	E132(可搬型)		
診断業務 サービス	—	—		脈動電流法※ 残留電荷法※			
精密診断	・使用10年以上で、 1~2年(水影響有) 2~3年(水影響無) ・定期点検で要注意	停電	—	活線診断の場合、要注意判定で精密診断実施			E030 E008,E009
事故点、不良点探査	—	停電	—	ブリッジ型 I018/L610 トレーサ型 I204/L640 (直埋ケーブル用)		—	—

※ ・脈動電流、残留電荷は絶縁抵抗以外による絶縁診断法です。
・残留電荷法は22kV~77kVケーブルに適用。

<各種試験・測定装置 製品ラインナップ>

○竣工試験、定期点検、精密診断(設備停電下)

ー停電下で、耐電圧試験、直流高圧漏れ電流試験を行います。

E008、E009
直流絶縁試験器
(電池式)



E030
直流絶縁試験器
(商用電源式)



○定期点検(設備活線下) ー通常の運転状態(活線下)で、各種の測定を行います。

LINDA1000
活線絶縁診断装置



LINDA1500
活線絶縁診断装置
(据付自動型)



E131
シース絶縁抵抗測定装置



E132
シールド抵抗測定装置

E135
シース絶縁抵抗測定装置
(常置型)



○不良点、事故点の位置評定 ー布設ケーブルの不良点、事故点位置を測定、探査します。

I018
ブリッジ形
ケーブル事故点測定装置
*直流電源 L610 と合わせて
使用します。



I204
トレーサタイプ
事故点探知器
*直埋ケーブル用。
直流電源 L640 と合わせて
使用します。



お問い合わせ先 株式会社フジクラ エネルギーエンジニアリング部 03-5606-1252
三菱電線工業株式会社 計装システム・工事課 048-532-2314
株式会社フジクラ・ダイヤケーブル 技術部 03-3543-8910



FDC ホームページ QR コード